

市指定文化財<史跡>

いむたじゆくあと 伊牟田塾跡

指定日 昭和62年7月3日

所在地 菊池市泗水町田島



「伊牟田塾」は「三省塾」とも称され、田島天満宮神主伊牟田泉により、嘉永元年(1848)に創設された私塾である。以来明治5年まで20年に亘り開講され、泉の学徳を慕い集う者は、藩内はもとより、遠くは兵庫、和歌山からの入門者もあり、その数は500人余にもなった。

「肥後先哲偉蹟」によれば、泉を「神道講釈を以て世に鳴る。又宮崎、鹿児島に入り、大いに皇道の扶植に努む。」とあり、藩主細川斎護、韶邦にも神道を進講している。

嘉永元年の32歳のとき、玉名の伊倉八幡宮で十昼夜の皇道説教を行う。同地の僧らはこれを聞き憤激し、論戦を挑んだ。70余寺の僧侶を相手に八昼夜に及ぶ神仏大論争が行われた。泉は相手を論破し更に名声を高めた。

嘉永5年(1852)には、八代城代松井章之より私塾建築用材が支給され、明治4年(1871)錦山神社(現在の加藤神社)が創設され初代祠官となる。明治25年没、享年76歳。